

令和2年度 自己評価結果公表シート 大王谷幼稚園

1.幼稚園の教育目標

○幼稚園の目標

子どもの自立と共生の心を育む

○子どもの自立を促すために

「健康な体」「豊かな心」「考える力」の育成に努める

2.本年度に定めて重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1.遊びを中心として子供たちが伸び伸びと活動をする教育の充実に努める。
- 2.規範意識や思考力の育ちなどに関する指導の充実に図る。
- 3.幼児の家庭での生活経験に配慮した基本的な生活習慣の育成を図る。
- 4.安心して安全な幼稚園を保证するための取り組みに努める。
- 5.幼稚園と小学校との連携を推進する
- 6.地域交流、異世代交流、国際交流等豊かな体験活動の充実に努める。

3.評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
1.教育活動の充実	A	今年度は、年齢・発達に応じた保育計画を進める上で、断片的なものではなく連続性や子どもが主体的となる遊びの工夫も取り入れる。
2.道徳指導等の充実	A	子ども達の実態・姿を職員間で共有し、改善策を話し合う機会を設ける。教師もすぐに答えを伝えるのではなく、自分で考えて行動に移せる言葉掛け・関わりを心掛けてきた。
3.基本的な生活習慣	A	個人差はあるが、挨拶・返事・衣服への着脱・食事のマナー・片付け等、家庭との連携を図りながら、習慣化へ繋がってはきている。個別対応も継続していきたい。
4.安心して安全な幼稚園	B	怪我が起きたときだけでなく、日常の園生活の中で、危険性があつた場面ややりとり・気付きを、職員間でその日に情報を共有していくことが習慣化に繋がってきている。
5.小学校との連携	B	コロナ禍で、例年と交流会のやり方・方法も変更となった年ではあつたが、交流や情報交換として行うことはできた。
6.豊かな交流体験の充実	B	コロナ禍で、中等部との交流や社会見学等、自粛した年となった。何気ないごっこ遊びから、異年齢のやり取り・交流の場として、設定することだけが「交流」ではないことを改めて考えていく機会となった。

4.幼稚園評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結果	理由
A	コロナ禍で、色々と行事や保育の進め方を考える一年であつた。これまでのやり方や進め方を見直す中で、新たな方法や内容に気付く機会となる。引き続き、色々な視点で遊びに目を向け、子ども達が主体的となる環境の充実と、保育の質の向上を目指していきたいと思う。

※項目 3.4 の評価結果の表示方法

A: 十分達成されている B: 達成されている

C: 取り組まれているが成果が十分でない D: 取組が不十分である

5.今後取り組むべき課題

課 題	具 体 的 な 取 組 方 法
1.教育活動の充実	その日だけの遊びとならない為に、教師もその日捉えた姿から、連続性を持って次のように環境を再構成していけば良いか工夫していく。
2.道徳指導等の充実	学年(年齢)全体で考える時間を十分に取り、教師間でも共通の育ちを持った関わりを心掛ける。家庭には園だよりや保育計画表で具体的に伝えていく。
3.基本的な生活習慣	個人差がある中で、具体的な方法・工夫等細かく家庭にも知らせ、共通理解を図る。
4.安心で安全な幼稚園	今年度は、保護者の方には具体的な避難訓練を見て頂く機会がなかった為、次年度は是非計画できればと思う。
5.小学校との連携	小学校から幼稚園に来園、園の現状を知って頂いた上で、より深い連携を図る機会を検討していく必要性を毎年ながら感じている。
6.豊かな交流体験の充実	コロナ禍で、できる範囲が限られてくるかもしれないが、計画として職員間で話し合っていきたい。
6.特記事項	
学校関係者の評価	特に指摘する事項はなく、妥当であると認められる。